

第21期第10回常任理事会議事録

日時 昭和56年5月9日(土) 9.45~12.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 小平, 荒井, 河村, 黒木, 竹内, 松本, 増田, 村山

報告

〔庶務〕

1. 4月23日, 東京大学海洋研究所長から, 昭和58. 59. 60年度白鳳丸研究計画立案シンポジウムの開催について案内がきた。
2. 4月24日, 自然災害科学総合研究班代表者石原安雄氏から, 第18回自然災害科学総合シンポジウム開催についての後援依頼がきた(10月23日東京工業大学)。
3. 4月24日, 気象大学校長から, 日本気象学会昭和57年春季大会当番及び学会創立100周年記念準備委員会委員について回答がきた。
4. 5月6日, KDD エンジニアリング アンド コンサルティング理事長大島信太郎氏から, 第3回(昭和56年度)国際通信研究奨励金について案内がきた。
5. 日本学術会議から, 第82回総会報告(要約)がきた。また学協会との懇談会の開催について案内がきた。

〔会計〕 5月8日, 田中監事から昭和55年度の会計監査を受け適正と認められたが, 次のような意見が出された。

- (a) 学会運営は, 前納金によって行われており, いわば借金財政である。
- (b) 備品台帳を整備すること。
- (c) 在庫の処分は, 基準を作って毎年実行すること。

議題

1. 昭和55年度予算決算について
原案承認。
2. 昭和56年度予算(案)について
一部修正のうえ原案承認, 100周年記念事業費1,050万円の予算書(案)を作成し5月27日の全国理事会に提案する。
3. 100周年記念事業について
小平準備委員長から次のとおり記念式典(案)が報告された

(1) 期日 昭和57年春季大会の前日の午後

(2) 会場

気象庁講堂を使うこととする。ただし使えるかどうか不明の場合は学士会館等を予約しておく。

(3) 行事日程

14:00 開会

あいさつ〔理事長, その他来賓〕

14:30 記念講演〔2名〕(気象学会員以外の著名人)

17:00 記念品贈呈, 記念写真

17:30 懇親会(会費約3,000円)通常実施している大会2日目の懇親会と合同することを当番官署と打合せる。

(4) 必要経費

講師謝礼 20万円

会場費 約20万円(学士会館)

記念品 10万円

懇親会補助 20万円

雑費 10万円

計 80万円

以上原案承認, 全国理事会に提案する。

4. その他

(1) 風に関するシンポジウムの運営委員の推薦について, 気象研究所の花房龍男氏を推薦したい。

(2) 第18回自然災害科学総合シンポジウム開催についての後援について
後援することを了承。

(3) IAMAP 第14回(1985年)総会について

他国で引き受けたいという意志表示がないので, 結局日本が引き受けることになる。地震分科会も行われることになるので, 共同で実施となる場合は, 会場は東京になる予定である。全国理事会に提案する。

(4) 100年史の編集委員の追加について

気象研究所の丸山健人会員を委員とすることを承認。

(5) 故 山本義一氏の供養について

金沢で供養が行われるので, 岸保理事長が出席し, 金一封をお供えする。

承認事項 山崎雄雄ほか25名の新入会員を承認。